

## ▼エナルモンテポール筋注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 テストステロンエナント酸エステル testosterone enanthate 【分類】 男性ホルモン製剤

【単位】 ▼125mg/A [1mL], ▼250mg/A [1mL]

【常用量】 ■男子性腺機能不全(類宦官症) : 1回 100mg を 7~10 日間ごと, 又は 1回 250mg を 2~4 週間ごとに筋注 ■造精機能障害による男子不妊症: 1回 50~250mg を 2~4 週間ごとに無精子状態になるまで筋注 ■再生不良性貧血, 骨髄線維症, 腎性貧血 : 1回 100~250mg を 1~2 週間ごとに筋注

【用法】 筋注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 持続性の男性ホルモン製剤

【主な副作用・毒性】 過敏症, 肝障害, 女性での回復しがたい嘔声・多毛, ざ瘡, 色素沈着, 月経異常, 陰核肥大, 性欲亢進, 男性での陰茎肥大, 持続性勃起, 特に大量継続投与により精巣萎縮・精子減少・精液減少等の精巣機能抑, 多幸症状, 皮膚症状など

【安全性に関する情報】

【F】 資料なし (1)

【代謝】 肝で代謝されテストステロンや他の代謝産物に変化。テストステロンは主に肝で代謝され, アンドロステロン, デヒドロエピアンドロステロン, エピアンドロステロン, エチオコラノロンなどになる (1)

【排泄】 グルクロン酸, 硫酸と抱合して, 尿及び一部は胆汁より排泄される (1)

【t1/2】 資料なし (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 400.59

【透析性】 資料なし (1)

【OW 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 ワルファリンの作用増強 (1)

【更新日】 20191204

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。